

地域振興戦略部補助金 申請書チェック表

資料№1

三 島 地 域 団 体 名 : 日吉小学校 P T A

9 月 18 日 支 所 担 当 者 名 : 地 域 振 興 課 廣 川 明 則

様式	チェック項目	し点
第 1 号様式	右上の日付は事業開始以前の日付になっているか	/
	代表者の印鑑は押してあるか	/
	補助申請額は 1,000 円未満を切り捨てて記入されているか	/
	額の算出に間違いはないか	/
	事業期間は、年度内になっているか	/
第 2 号様式	団体パンフ、添付資料の有・無に○がついているか (ある場合は、申請書とともに提出)	/
	担当者連絡先は正確に記入されているか (事務所の所在がある場合はその項目も記入)	/
	団体情報の公開・非公開は選択されているか	/
第 3 号様式	事業計画に計画内容の記入モシはないか	✓
第 4 号様式	収入の部、支出の部の合計金額に誤りはないか	✓
	収入と支出の合計がイコールになっているか	✓
	支出に慰労会費、アルコール類の購入費は含まれていないか	✓
共通	事業に関して県や市の他の補助金を受けていないか	✓
	事務局の精査時に必要に応じてヒアリングを、三島地域委員会での審査時に、プレゼンテーションがあることを伝えたか	✓

◎申請団体のこれまでの主な取り組み、過去の目立った活動がありましたら記入してください。

・本事業は、日吉地区や三島地域の先達が大切にしてきた伝統行事や、三島まつり等のイベントへの参加を通じて、地域の良さや地域の人々の温かさに触れることで、子どもたちにとってかけがえのない日吉地区・三島地域であることを感じることで、伝統的な行事に参加する姿勢や地域への愛着を深める機会とするもの。

◎その他 申請書受け取り時の団体の要望、担当者の方が気付いた点などがありましたら記入してください。

・本事業に取り組むことで、地域の人々との交流が生まれ、世代を超えた交流(多世代交流)が期待でき、日吉地域から地域活性化の輪が広がることが期待できる。
 ・今後は脇野町小学校区との連携を検討してもらい、三島地域全体に広がって行くことを期待したい。

第3号様式

事業計画書

事業名	日吉大すき 三島大すき
事業実施の目的	<p>日吉地区、三島地域には地域の先達^{せんだつ}が築き、地域の方々が長い間大切にしてきた“伝統行事”がある。</p> <p>子どもたちが地域の行事に参加することを通して、地域の良さや豊かさ、地域の方の温かさに触れながら、自分たちにとってかけがえのない地域であることを感じ、伝統的な行事に積極的に参加する姿勢や地域への愛着を深める機会とする。</p> <p>そして、自分の生まれ育った日吉、三島を、自信をもって「大好き」と言えるようにする。</p>
事業内容	<p>1 日吉小オリジナルダンス ダンスインストラクターから日吉小オリジナルダンスを作っていただき、子どもたちが毎年、参加している「三島まつり～ステージイベント～」で披露し、地域の活性化につなげる。</p> <p>2 越後みしま 竹あかり街道 朗読指導者から群読等の指導をしていただき、子どもたちが毎年、参加している「越後みしま 竹あかり街道～ミニコンサート～」で披露し、地域の活性化につなげる。</p>
事業実施までのスケジュール	<p>【三島まつりに向けて】</p> <p>4月～ 前年度のダンス練習（教科：体育において） 5月 運動会で披露（地域の方も一緒にダンス） 6月 新曲の選定とインストラクターからの指導（新ダンス） 7月 インストラクターからの指導、演出の構想・発表練習 8月 三島まつり～ステージイベント～発表 10月 さわらび発表会で披露</p> <p>【みしま竹あかり街道に向けて】</p> <p>9月 朗読指導者からの群読指導、演出の構想 10月 朗読指導者からの群読指導、発表練習、小道具づくり みしま竹あかり街道～ミニコンサート～発表</p>
子どもたちへの継承及びプロモーション効果	<p>○ふるさとへの愛着や誇りを育む教育活動の充実 ○地域行事への参加による地域の活性化 ○地域の方との触れ合いによる豊かな心の構築 ○健康でたくましい心身を育む教育の充実 ○言語活動と豊かな感性を磨く教育の充実</p>

※ 事業の内容は、詳細に記載してください。（別紙も可）

第4号様式

事業の収支予算書

収入の部

(単位:円)

項目		予算額	内 訳
地域の宝磨き上げ事業補助金(E)		210,000	
自己資金			
特定財源			
	小計(D)	0	
その他		0	
合計		210,000	

支出の部

(単位:円)

項目		予算額	内 訳
補助対象経費	ダンス講師レッスン料	30,000	講師謝礼30,000円
	三島まつり演出材料費	120,000	衣装・小道具代(マッキーフ、結束バンド等)2,000×60人分
	朗読講師指導料	30,000	講師謝礼30,000円
	ミニコンサート演出材料費	30,000	衣装・小道具代1,500×20人分
小計(C)		210,000	
補助対象外経費			
小計(B)		0	
合計(A)		210,000	

※ 項目欄が不足する場合は、同類の項目をまとめて記入し、細目は別紙に記載してご提出ください。

地域振興戦略部補助金 申請書チェック表

資料№2

三島地域 団体名： みしま地区平和フォーラム 2020 実行委員会

10月 4日 支所担当者名： 地域振興課 廣川明則

様式	チェック項目	し点
第1号様式	右上の日付は事業開始以前の日付になっているか	/
	代表者の印鑑は押してあるか	/
	補助申請額は1,000円未満を切り捨てて記入されているか	/
	額の算出に間違いはないか	/
	事業期間は、年度内になっているか	/
第2号様式	団体パンフ、添付資料の有・無に○がついているか (ある場合は、申請書とともに提出)	/
	担当者連絡先は正確に記入されているか (事務所の所在がある場合はその項目も記入)	/
	団体情報の公開・非公開は選択されているか	/
第3号様式	事業計画に計画内容の記入モシはないか	✓
第4号様式	収入の部、支出の部の合計金額に誤りはないか	✓
	収入と支出の合計がイコールになっているか	✓
	支出に慰労会費、アルコール類の購入費は含まれていないか	✓
共通	事業に関して県や市の他の補助金を受けていないか	✓
	事務局の精査時に必要に応じてヒアリングを、三島地域委員会での審査時に、プレゼンテーションがあることを伝えたか	✓

◎申請団体のこれまでの主な取り組み、過去の目立った活動がありましたら記入してください。

- ・本事業は令和元年度に落語家の桂竹丸師匠を講師に平和フォーラム 2019 を開催し、講演後、小中学生と大人と一緒にワークショップで平和について話し合いを行い、改めて平和について考える機会となった。
- ・小中学生と大人と一緒にワークショップを行ったことにより、多世代交流による話し合いの良さ、大切さに気付いた。

◎その他 申請書受け取り時の団体の要望、担当者の方が気付いた点などがありましたら記入してください。

- ・広島平和記念公園にある「原爆の子の像」のモデル：佐々木禎子さんの親族から話を聴ける機会を設けることで、子ども達の平和に対する思い、人思いやる思いを伝えたい。
- ・令和元年度の事業成果を踏まえ、さらに平和な世界を実現する機運を三島地域から高めていくため、広島原爆の被害者の親族を招き、戦争の悲惨さ愚かさに加え、原子爆弾の被害の実態を学び、二度と核兵器が使われることの無い世界を実現することを、三島地域の一人ひとりが決意する事業にしたい。

第3号様式

事業計画書

事業名	「みしま地区平和フォーラム2020」
事業実施の目的	<ul style="list-style-type: none">「みしま平和フォーラム 2019」の成果を土台として、戦災都市・長岡の一員として戦争の愚かさ、悲惨さを自覚する。小学生や保護者、地域の大人が平和の尊さについて地域全体で学ぶ機会とする。
事業内容	<p>【内容】</p> <p>1 期日 未定（およそ 10 月前後）</p> <p>2 会場 三島中学校体育館</p> <p>3 参加者</p> <p>(1) 三島中学校生徒</p> <p>(2) 小学校 5、6 年生</p> <p>(3) 小・中学校保護者</p> <p>(4) みしま地区青少年健全育成会議・会員</p> <p>(5) 地域関係者（区長、地域委員ほか）</p> <p>(6) 希望する地域在住者</p> <p>(7) その他</p> <p>4 日程（2 時 30 分～4 時 00 分）</p> <p>講演及び演奏 佐々木祐滋さん</p>
事業実施までのスケジュール	<p>【スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none">4 / 月上旬 講師の仮予約、所属事務所との連絡・調整4 / 中旬 第 1 回実行委員会（P T A 役員、三島中学校会場）5 / 中旬 第 2 回実行委員会（同上）6 / 月上旬 第 1 次案内配付8 / 下旬 第 2 次案内配付（最終案内）前日 第 3 回実行委員会
子どもたちへの継承及びプロモーション効果	<ul style="list-style-type: none">前回は桂竹丸師匠による落語公演を行った。平和教育・平和学習を主目的に置きながら、小・中学生が日本の伝統芸能である落語に触れる貴重な機会となった。今回は、昨年度の実業の成果をふまえ、さらに平和な世界を実現する機運をみしまから高めていきたい。そのため、広島原爆の被害者である佐々木禎子さん（広島平和記念公園にある原爆の子の像のモデル）の甥である佐々木祐滋さんを招く。戦争の悲惨さ、愚かさに加えて、広島・長崎に投下された原子爆弾の実態を学び、二度と戦争に核兵器が使われることのない世界を実現する決意をみしま地域の一人ひとりが固めていけるようにしたい。佐々木祐滋さんは、シンガーソングライターであり、禎子の思いを綴った楽曲「INORI」は、2010 年の NHK 紅白対抗歌合戦で歌手のクミコによって歌われている。全国の小中学校や各地の平和イベントにおいて講演会・演奏を行うなど、豊富な実績をもっている。本事業は三島中学校・創立 70 周年記念事業の一環として実施する方向で今後、検討中。

※ 事業の内容は、詳細に記載してください。（別紙も可）

第4号様式

事業の収支予算書

収入の部

(単位:円)

項 目		予算額	内 訳
地域の宝磨き上げ事業補助金(E)		492,000	
自己資金	三島地域三校PTAより	13,000	
特定財源			
	小 計(D)	0	
その他		0	
合 計		505,000	

支出の部

(単位:円)

項 目		予算額	内 訳
補助対象経費	公演料	350,000	
	上記消費税	35,000	
	交通費	20,000	東京—長岡間、新幹線
	楽器・音響機器レンタル料	100,000	
小 計(C)		505,000	
補助対象外経費			
小 計(B)		0	
合 計(A)		505,000	

※ 項目欄が不足する場合は、同類の項目をまとめて記入し、細目は別紙に記載してご提出ください。

佐々木祐滋さん プロフィール



- 1970 年生まれ。福岡県出身。
- 広島平和記念公園にある原爆の子の像のモデルである佐々木禎子の甥。
- 被爆二世でもあり、特定非営利活動法人 SADAKO LEGACY 副理事長として、世界へ伝わる禎子ストーリーを通じて、相手を「思いやる」ことや相手と「分かちあう」心を共有出来るように、禎子の遺品の折り鶴を世界各国へ寄贈し、歌を交えた講演活動や折り鶴でつながるリサイクルプロジェクトを展開しながら「誰もが夢や希望を叶えられる世界」の創造を目指している。
- 活動のきっかけは、バンドのボーカルとして活動中、佐々木禎子の甥としての経歴から、とある戦争体験者の方々に「あなたにも禎子の DNA が入っているのだから、禎子の物語を語り継ぐ責任がある」と告げられ、2000 年に自身がボーカルを務めるバンド「GOD BREATH (ゴッド・ブレス)」を結成し、叔母である禎子を語り、歌を通じて命の尊さを訴える活動始める。その後、禎子をモチーフにした楽曲を作り、世界各地で高い評価を得る。また全国の小中学校や各地の平和イベントにも参加。現在、学校ライブを行った学校数はのべ 500 校を超える。
- 2009 年からはソロ活動をスタートさせ、禎子の思いを綴った曲『INORI』が 2010 年 7 月 21 日にソニーミュージックレコーズよりメジャーデビュー。同曲をカバーした「クミコ」さんは、2010 年 NHK 紅白歌合戦にこの『INORI』で初出場し、ヒットメーカーの仲間入りを果たした。またアメリカの有名ロックバンド「MR. BIG」のボーカル、エリック・マーティン氏も自身のカバーアルバム「MR. VOCALIST」のベスト盤新録として「INORI」をカバーしている。
- 父・雅弘は禎子の 2 つ年上の実兄で、広島原爆投下時には、広島に居住、妹・禎子とともに被爆している。妹の禎子は 12 歳で白血病を発病し亡くなったが、雅弘には症状は出ず、佐々木家は戦後福岡へ転居。祖父母(禎子の父母)も同地に生前居住しており、祐滋は幼少の頃より、祖父母から禎子の逸話を聞かされていた。
- 主な講演のテーマ
 1. 原爆の子の像『佐々木禎子が遺したもの』
 2. 平和への願いを込めた楽曲『INORI』
 3. 鶴の恩返し ～折鶴が世界に翔び立つ～

以上、<https://www.kouenirai.com/profile/5243> より引用。

佐々木祐滋さん「INORI」



別れがくると知っていたけど	泣いて泣いて泣き疲れて	めぐりめぐり行く季節をこえて
本当の気持ち言えなかった	怖くて怖くて震えてた	今でも今でも祈っている
色とりどりの折り鶴たちに	祈り祈り祈り続けて	二度と二度とつらい思いは
こっそり話しかけてました	生きたいと思う毎日でした	誰にもしてほしくはない
愛する人たちのやさしさ	(中略)	誰にもしてほしくはない
見るものすべて愛しかった	別れがきたと感じます	
もう少しだけでいいから	だから最後に伝えたい	
皆のそばにいらさせて下さい	本当に本当にありがとう	
	私はずっと幸せでした	

(GOD BREATH作詞、JASRAC出1009272—001)

作品に禎子の思い込めた／隣の人命も大切に

ささき・ゆうじ

1970年、福岡市生まれ。中学時代にバンド活動を始め、ボーカルを担当した。福岡外語専門学校卒業後、東京で就職。2000年に幼なじみとロックバンド「GOD BREATH」を結成。09年からソロ活動をし、父の雅弘さんとNPO法人「SADAKO LEGACY」を設立。国内外で平和を訴える活動をしている。



被爆して10年後に突然白血病を発症し、鶴を千羽折れば治ると病床で折り続けながら12歳でこの世を去った佐々木禎子さん。平和記念公園（広島市中区）にある「原爆の子の像」のモデルです。禎子さんのおい、佐々木祐滋さん（40）は「死と向き合っていたのに、家族の前では常に笑顔でいた禎子。その禎子になって考えたんです」と作品に込めた思いを語ります。

子どものころ、禎子さんの兄にあたる父の雅弘さん（69）に連れられて毎年8月6日の平和記念式典に出ました。原爆の子の像も訪れました。しかし、「自分には関係ないと感じていた」と振り返ります。

転機は10年ほど前。雅弘さんが講演で上京し、東京でバンド活動していた祐滋さんが運転手として同行しました。会場の控室で、高校の生徒や先生たちに「あなたの体の中には禎子さんのDNAが入っている。音楽をやっているのなら禎子さんの歌を歌わないといけないんじゃないですか」と言われました。「頭をガツンと殴られたような気がしました」。叔母の存在が一気に近く感じられるようになり、曲作りを始めました。

禎子さんのことは子どものころから、雅弘さんや祖父の故繁夫さんに聞いていました。特に印象に残っているのは、家族は禎子さんに病名を伏せていましたが、禎子さんの死後、ベッドの下から白血球や赤血球の検査数値を正確に書き写した禎子さんのメモが出てきたことです。「白血病と分かっていたのに泣き言一つ口にできなかった。でも絶対我慢できるはずない。誰かにすがりたかったはず」と、歌詞に「泣いて泣いて泣き疲れて」と繰り返すフレーズを入れました。

メロディーは当初、モンゴルで禎子さんをテーマに作られた愛唱歌を使っていました。ソロ活動を始めるにあたって、昨年新たに作曲。希望が感じられるメロディーにしています。

小中学校を中心に講演もしています。10年間で300校以上回りました。ギターを片手に、禎子さんの被爆状況や入院中の様子を話し「生きることが当たり前じゃなかった。みんなも命があることに感謝し、隣人の命も大切にしてほしい」と訴えています。禎子さんが折った小さな鶴を見せることもあります。

これを除いて手元に禎子さんの鶴が3羽あります。5羽あったのですが、うち2羽はニューヨークの米中枢同時テロの追悼施設、ウィーンの平和博物館に寄贈しました。残る3羽は、ブラジルとアフリカ、そしてハワイに贈りたいそうです。「被害者も加害者も傷ついている。禎子の鶴を置くことで、心の終戦ができれば」と願っています。（二井理江）

以上、http://www.hiroshimapeacemedia.jp/hiroshima-koku/handingdown/index_20100726.html より引用。

広報な毎日】 平和の尊さを次の世代へ語り継ぐ

投稿日 2015年8月1日



ながおか平和フォーラムをアオーレ長岡で開催しました。第1部では広島平和記念公園の「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木禎子(さだこ)さんの折り鶴が、甥(おい)の佐々木祐滋(ゆうじ)さんから寄贈されました。



禎子さんの祈りが込められたこの折り鶴は2センチほどの小さなもの。明日から[長岡戦災資料館](#)に展示します。



第2部は「平和を願う私たちの取り組み」と題して市内小中学生が意見発表を行いました。平和学習や東日本大震災被災地との交流を紹介し「戦争の恐ろしさを学び、二度と繰り返してはならないということを伝えたい」「自分の目を見た被災地の現状や思いを知ってもらいたい」「平和な今を当たり前と思わず、一つ一つ精いっぱい取り組みたい」など学んだことや語り継ぐことの大切さを発表しました。



第3部はシンガーソングライターである佐々木祐滋さんによるトーク&ライブ。当時の禎子さんのエピソードを語り「禎子を通じて学んだ“人を思いやる心”を伝えたい。それが平和へつながると思います」と話しました。

平和の尊さを改めて考える機会に、約 450 人の参加者は真剣な表情で聞き入っていました。(H)

以上、<https://www.city.nagaoka.niigata.jp/shisei/cate02/blog/20150801-3.html> (長岡市ホームページ)より引用

地域振興戦略部補助金 申請書チェック表

資料№3

三 島 地 域 団 体 名 : 脇野町小学校 P T A あおい会

9 月 18 日 支 所 担 当 者 名 : 地 域 振 興 課 廣 川 明 則

様式	チェック項目	し点
第 1 号様式	右上の日付は事業開始以前の日付になっているか	/
	代表者の印鑑は押してあるか	/
	補助申請額は 1,000 円未満を切り捨てて記入されているか	/
	額の算出に間違いはないか	/
	事業期間は、年度内になっているか	/
第 2 号様式	団体パンフ、添付資料の有・無に○がついているか (ある場合は、申請書とともに提出)	/
	担当者連絡先は正確に記入されているか (事務所の所在がある場合はその項目も記入)	/
	団体情報の公開・非公開は選択されているか	/
第 3 号様式	事業計画に計画内容の記入モシはないか	✓
第 4 号様式	収入の部、支出の部の合計金額に誤りはないか	✓
	収入と支出の合計がイコールになっているか	✓
	支出に慰労会費、アルコール類の購入費は含まれていないか	✓
共通	事業に関して県や市の他の補助金を受けていないか	✓
	事務局の精査時に必要に応じてヒアリングを、三島地域委員会での審査時に、プレゼンテーションがあることを伝えたか	✓

◎申請団体のこれまでの主な取り組み、過去の目立った活動がありましたら記入してください。

・昨年度は、保護者と 50 人のボランティア、地域、学校が連携し、子どもたちの登下校時間帯にあわせ、挨拶かわり隊や通学路での見守り活動が積極的に行われていた。

◎その他 申請書受け取り時の団体の要望、担当者の方が気付いた点などがありましたら記入してください。

・本事業は、昨年度のボランティア 50 人に加え、新たに 10 人の増を目指している。
 ・昨年度の P T A 会長が相談役として残っていることで、来年度の活動が円滑に進められることが期待される。
 ・ボランティアの保険について、将来的に補助金がなくなった時のことを考え、他の方法・別の財源等の確保等が必要であると感じる。

第3号様式

事業計画書

事業名	「みんな家の子 みまもりたい！」
事業実施の目的	・子ども達を地域で見守り安全に育てていくために、地域と保護者、学校が連携し、地域全体で犯罪や事故から子どもを守るため、昨年結成した「見守り隊」の隊員や活動の拡充を図る。
事業内容	○通学路とその周辺での登下校・下校後の見守り ・昨年度発足した「みんな家の子 みまもりたい！」を継続しながら、さらに時間帯を登下校時だけでなく、児童が遊び等の外出から帰る時刻(17時から18時頃)にも活動してもらえよう呼びかけ、見守り活動を行う。 <活動の概要> ・「みんな家の子 みまもりたい！」のベストと名札を着用、黄色い旗を持ち、通学路に立ったり一緒に歩いたりしながら見守り活動を行う。 ・犬の散歩、買い物等の、隊員の都合のよい時間・都合のよい場所で行う。(ながら見守り) ・保護者や地域に向けて、登下校時に限らず、児童が遊びから帰る時間などにも行うよう声をかける。(ながら見守り) ・保護者全員が輪番制で見守り隊ベスト着用、横断旗を持ち、主要5箇所で見守りしながら見守る。(挨拶かかわり隊)
事業実施までのスケジュール	(前年度の取組) 1月 協力町内で見守り隊募集を回覧 2月 脇野町小学校保護者全戸に見守り隊募集を配布 3月 隊員組織作り(隊の代表者・町内の代表者)・PTA生活指導部員と学校・隊員で通学路見守り場所の情報交換 4月 「みんな家の子 みまもりたい！」スタート 4月 PTA総会時に見守り隊発足の報告と活動の意義を説明。 5月 PTA挨拶かかわり隊の活動スタート 11月 中旬で本年度の見守り隊・PTA挨拶かかわり隊終了 11月 本年度の事業報告と来年度の参加呼びかけを町内に回覧 脇野町小学校保護者にも配布 11月 脇野町小学校に隊員をお招きし、児童・PTAよりお礼、意見交換 1月 協力町内を対象に、見守り隊隊員の募集を回覧 3月 次年度の隊員組織づくり
子どもたちへの継承及びプロモーション効果	・子どもたちが、いつも見守られているという「安心感」を持つことができる。 ・地域の防犯意識の向上。 ・地域の方と子どもたちとの関わりが増える。 (顔の見える関係づくり)

※ 事業の内容は、詳細に記載してください。(別紙可)

第4号様式

事業の収支予算書

収入の部

(単位:円)

項目		予算額	内 訳
地域の宝磨き上げ事業補助金(E)		210,000	
自己資金			
特定財源			
	小計(D)		
その他			
合計		210,000	

支出の部

(単位:円)

項目		予算額	内 訳
補助対象経費	防犯帽子	66,000	@1,100円×60個
	ベスト	22,000	@2,200円×10着
	黄色い旗	6,700	@670円×10本
	名札	3,300	@1,650円×2箱
	看板	10,000	@2,000円×5枚
	飛出し防止用看板	20,000	@5,000円×4基
	チラシ等作成費	53,000	連れ去り防止等注意喚起チラシ、ポスター作成費
	郵送料	8,000	@1,000円×8カ月
	ボランティア保険	21,000	@350円×60人
	小計(C)	210,000	
補助対象外経費			
	小計(B)		
合計(A)		210,000	

※ 項目欄が不足する場合は、同類の項目をまとめて記入し、細目は別紙に記載してご提出ください。